

第18回オンキヨー世界点字作文コンクール開催



オンキヨー株式会社と公益財団法人 日本教育科学研究所は第18回オンキヨー世界点字作文コンクールを開催いたします(特別協力: 社会福祉法人 日本ライトハウス情報文化センター、社会福祉法人 国際視覚障害者援護協会)。

当社は、創業以来、人類の共通語ともいえる音楽の理想的な再生装置の開発を目指し、オーディオビジュアル製品を中心に、日本国内はもとより世界中の方々に驚きと感動を伝えています。また、すべての方に美しい音と音楽を伝えたいという願いから、1994年より点字や音声情報で目の不自由な方にもご自身の手でオーディオを楽しんでいただける「ラクラクキット」の提供サービスを実施しています。そして、2003年に「点字作文コンクール」を創設、2011年からは「オンキヨー世界点字作文コンクール」と名称を変更して、国内及び海外からも広く作品を募っています。2015年には、作詞賞を新設。2016年からは、「作詞賞」に選ばれた作品に曲をつけ、歌として親しんでもらう取り組みも始めました。

国内審査員長には作家の玉岡かおるさん、作詞賞の選考には歌人の松村由利子さんを迎え、優秀な作品には、賞金はじめ当社製品および「ラクラクキット」を贈呈、受賞作品は当社ホームページに掲載しております。また、国内「最優秀オーツキ賞」、「作詞賞」の受賞者を招待して、表彰式も開催しております。さらに作/編曲家でミュージシャンでもある徳永暁人さんに「作詞賞」受賞作品に曲をつけていただいて、楽曲として受賞者に贈呈するとともに、当社で運営するハイレゾ音源配信サイト e-onkyo music での配信を行う予定となっております。

※コンクールの詳細は別紙「第18回オンキヨー世界点字作文コンクール募集要項」をご覧ください。

■ 審査員紹介

国内審査員長 玉岡かおる (作家)



1987年 神戸文学賞受賞作の『夢喰い魚のブルー・グッドバイ』(新潮社)で文壇デビュー。山本周五郎賞候補作『をんな紋』3部作(角川書店)、『天涯の船』(新潮社)、『銀のみち一条』『負けんとき ヴォーリズ満喜子の種時く日々』(新潮社)、など著書多数。織田作之助賞受賞作の「お家さん」(新潮社)は舞台化・ドラマ化された。近著は「天平の女帝 孝謙称徳」「花になるらん 明治おんな繁盛記」(新潮社)「姫君の賦 千姫流流」(PHP 研究所)など、年に一作のペースで上梓。大阪芸術大学教授、兵庫県教育委員。オンキヨー世界点字作文コンクールの審査員を第12回開催から務める。

作詞賞審査員 松村由利子 (歌人)



1994年に短歌研究新人賞を受賞。歌集に『大女伝説』(葛原妙子賞受賞)『光のアラバスク』(若山牧水賞受賞)など。2006年現代短歌新人賞、2009年短歌研究賞受賞。著書に『31文字のなかの科学』(科学ジャーナリスト賞受賞)、『与謝野晶子』(平塚らいてう賞受賞)、『短歌を詠む科学者たち』『少年少女のための文学全集があったころ』など。子どもの本の翻訳や創作にも携わる。オンキヨー世界点字作文コンクールの審査員を第13回開催から務める。

■ 作曲者紹介



作詞賞受賞作品作曲 徳永暁人（作/編曲家、ミュージシャン）

東京音楽大学映画放送音楽コース卒。倉木麻衣『渡月橋～君 想ふ～』他、B'z・ZARD・大黒摩季・ももいろクローバーZ・BAND-MAID など数多くのアーティストへ楽曲提供・編曲を担当。サポートベーシストとして多数アーティストの全国ツアーに参加。また、アニメ「ドラゴンボール」や「スラムダンク」等のサウンドトラックを担当し、幅広い音楽を製作。自身もアーティストとして、2004年より3ピースポータルバンド「doa」のベース&ボーカルとして活動。『英雄』・『心のリズム飛び散るバタフライ』を含む全作編曲を担当し、プログラミングやピアノ等数多くの楽器セクションを担当している。さらに、2016年より大阪音楽大学の准教授に就任と多彩な分野で活躍中。オンキヨー世界点字作文コンクールの審査員を第14回開催から務める。

■ 関連サイト

- オンキヨー世界点字作文コンクール <https://www.jp.onkyo.com/tenjisakubun.htm>
- 目のご不自由な方のオーディオライフをサポートする「ラクラクキット」と製品情報を発信バリアフリーサイト「らくらく館」
<https://www.jp.onkyo.com/rakuraku/index.htm>

以上

■ 本件に関するお問合せ先
オンキヨー株式会社 総務人事部 総務課 米田
〒577-0063 大阪府東大阪市川俣1丁目1-41 ルクスビル TEL:06-6747-9170



作文

最優秀オーツキ賞：1編

「成人の部」優秀賞 / 佳作：各1編

「学生の部」：優秀賞 / 特別賞：各1編

「サポートの部」：優秀賞 / 佳作：各1編

作詞

作詞賞：1編

オンキヨー世界点字作文コンクールとは

点字と音声の懸け橋を築きたいという願いから、2003年に「点字作文コンクール」を創設しました。04年には海外部門も創設。06、07、09年と対象地域を広げて、毎年、世界各国から応募があります。この実態に即した形で、11年には名称を「オンキヨー世界点字作文コンクール」と改称しました。国内では、第12回から視覚障害者を周囲で支えている人を対象に「サポートの部」を設けました。第13回には、作詞賞を新設。第14回からは、「作詞賞」に選ばれた作品に曲をつけ、歌として親しんでもらう取り組みもはじめました。入賞作品は、オンキヨー株式会社のホームページを通して国内外に発信しています。作詞賞の作品は曲として、オンキヨーにより良質の音源で配信される予定です。さらに、入選作品を点字と墨字（活字）での「入選作品集」をつくり、受賞者をはじめ関係者に寄贈しています。

締め切り

2020年5月31日

※詳細は募集要項をご確認ください (当日消印有効)

主催：オンキヨー株式会社 / 公益財団法人 日本教育科学研究所
後援(予定)：厚生労働省 / 日本盲人福祉委員会
オーディエンス株式会社 / 株式会社ギザ
特別協力：社会福祉法人日本ライトハウス情報文化センター
社会福祉法人 国際視覚障害者援護協会

ONKYO®



オンキヨー世界点字作文コンクール
<http://bit.ly/2uWCNZ7>



作品募集

さくぶんしゅう

だいじゅうはっかい
第十八回
オンキヨー世界点字作文コンクール

第18回オンキョー世界点字作文コンクール募集要項



テーマは自由。視覚障害や点字などを通じて体験に基づく作品を募集します。「サポートの部」では視覚障害のある人の家族、友人、同僚からの作文だけでなく、視覚障害者と駅で出会った体験、ボランティアをした経験、点字を学んだ経験など具体的な体験を通じて考えたことを広く募集します。

募集

- 対象** 視覚障害者。ただし、作文「サポートの部」は、どなたでも応募できます。
- 部門** 【作文】「成人の部」「学生の部（高校生以下）」「サポートの部」
【作詞】「作詞の部」
- 作品の分量** 【点字作品】32マス120行以内
【墨字(活字)作品】2000字（400字詰め原稿用紙5枚）以内
【作詞作品】1曲の歌に収まる程度で、形式は自由。
- 応募方法** 【点字作品】データ化したものがある場合は、BESかBASE形式のものをメールで送信してください。
または、USBなどに入れて郵送してください。
【墨字(活字)作品】データがあれば、テキストかワード形式のものをメールで送信してください。
または、USBなどに入れて、プリントした原稿とあわせて郵送してください。

※作品には「部門」（例・作文「成人の部」と「題名」「名前」を必ず書いてください。

※別紙に、以下の8項目を書いてください。

①応募部門（作文：「成人の部」「学生の部」「サポートの部」／作詞：「作詞の部」）／②題名（ふりがなも）／③氏名（ふりがなも）

④郵便番号、住所、電話／⑤年齢／⑥生年月日／⑦職業または学校名、学部、学年／⑧身体障害者手帳等級（「サポートの部」は不要）

※応募は未発表の作品で1人1点でお願いします。応募原稿は返却いたしません。

※受賞作品の著作権は主催者に帰属します。

- あて先** 【応募メール】 csr@jp.onkyo.com
【郵送】 〒577-0063 大阪府東大阪市川俣1丁目1-41 ルクスビル
オンキョー株式会社 総務部「点字作文コンクール」係

- 締め切り** 2020年5月31日（当日消印有効）
※締め切り直前の応募の際は、点字郵便は消印がないため普通郵便で応募してください。

審査

- 【作文】1次審査の後、作家の玉岡かおるさんらによる最終審査を行いません。
【作詞】歌人の松村由利子さんらが審査します。

賞

- 作文** 【最優秀オーツキ賞】（「成人の部」「学生の部」の両部門の中から選出）賞金20万円／記念品
- | 「成人の部」 | 「学生の部」※高校生以下 | 「サポートの部」 |
|-----------------|------------------------|-----------------|
| 【優秀賞】 賞金7万円／記念品 | 【優秀賞】 記念品 | 【優秀賞】 賞金5万円／記念品 |
| 【佳作】 賞金3万円／記念品 | 【特別賞】 記念品
（小中学生が対象） | 【佳作】 記念品 |
- 作詞** 【作詞賞】 賞金5万円／記念品
※ミュージシャンで作／編曲家の徳永暁人さんが作曲をします。

入選発表

10月下旬から11月上旬

表彰式

11月（予定）に最優秀賞1人と作詞賞1人、それぞれの付き添いの方をお招きします。